

はちのへ 市議会だより

令和4年12月定例会

No.123

2023年(令和5年)1月20日発行



令和4年11月20日、豊崎地区と柏崎地区の2地区において、「議会ふれあいミーティング」を開催し、地域の方々と議員の間で活発な意見交換がなされました。(関連記事：8ページ)

主な内容

- 議案審議結果 P2
- 12月補正予算、一般質問 P3~7
- 議会ふれあいミーティング開催報告 P8

令和4年度八戸市一般会計 補正予算などを可決

令和4年12月定例会を12月6日から12月20日までの15日間の会期で開き、令和4年度一般会計補正予算など、議案23件を可決しました。

市議会の詳しい情報は、ホームページでご覧になれます。

八戸市議会

検索



議案審議結果・賛否一覧表

■全議案とも全会一致で可決されました。

市長提出議案	予算	令和4年度補正予算 八戸市一般会計（議案第102号、124号）/八戸市自動車運送事業会計/八戸市立市民病院事業会計/八戸市下水道事業会計/八戸市国民健康保険特別会計/地方卸売市場八戸市魚市場特別会計/八戸市都市計画土地区画整理事業特別会計/八戸市学校給食特別会計/八戸市中央卸売市場特別会計/八戸市霊園特別会計/八戸市介護保険特別会計/八戸市国民健康保険南郷診療所特別会計/八戸市後期高齢者医療特別会計
	条例	一部改正 八戸市職員の定年等に関する条例等/八戸市職員の給与に関する条例/八戸市職員の給与に関する条例等/八戸市職員退職手当支給条例/八戸市立学校設置条例/八戸市手数料条例
	契約	一部変更契約 新井田公園テニスコート増設等工事（その2）請負契約
	その他	指定ごみ袋の買入れについて/市道路線の廃止及び認定について
出議員提案	意見書	旧統一教会（世界平和統一家庭連合）による高額献金要求等の被害防止及び被害者救済措置の適切な対応を求める意見書

会派別所属議員

お知らせ

自由民主・市民クラブ	山之内 悠 間 盛 仁 久 保 百 恵 岡 田 英 日 當 正 男 高 山 元 延 工 藤 悠 平 藤 川 優 里 小 屋 敷 孝 森 園 秀 一 壬 生 八 十 博 豊 田 美 好 松 橋 知 立 花 敬 之 坂 本 美 洋
きずなクラブ	吉 田 洸 龍 高 橋 貴 之 田 名 部 裕 美 三 浦 博 司 寺 地 則 行 冷 水 保 五 戸 定 博
新緑・無所属の会	伊 藤 圓 子 山 名 文 世 吉 田 淳 一
公明党	高 橋 正 人 中 村 益 則 夏 坂 修
日本共産党議員団	久 保 しょう 苫 米 地 あ つ 子 田 端 文 明
無所属	上 条 幸 哉

○本会議の会議録は、市庁本館1階「市政情報コーナー」、市庁本館3階議会事務局、南郷事務所、八戸市立図書館で閲覧できます。また、八戸市議会ホームページの会議録検索システムでもご覧いただけます。なお、今定例会の会議録の公開は、次期定例会開催時期となります。

○次期定例会は2月下旬に開催する予定です。会期日程や一般質問日程（各議員の質問の要旨）は、詳細が決まり次第、ホームページに掲載します。

令和4年度八戸市一般会計12月補正予算

一般会計補正予算額 24億8,900万7千円
 (補正後の予算総額 1,038億7,224万3千円)

今定例会では、国の「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」を踏まえ、保育・介護などの福祉事業者をはじめ、農業者、漁業者、貨物自動車運送事業者などを重点的に支援するために必要な予算を計上するとともに、新たに、妊婦などに対する伴走型相談支援と経済的支援を一体的に実施するために必要な予算を計上したほか、年度内に見込まれる乳幼児・小児などへの新型コロナウイルスワクチン接種費用や新大橋整備事業費などを追加計上しました。

可決された補正予算案の主なものに関しては、右のとおりとなります。

主なもの

- 福祉事業者等物価高騰対策支援事業費 …… 1億1,270万円
 - ・保育や介護などの福祉事業者に対し、食材費や光熱水費、燃料費の価格高騰分を支援
- 新型コロナウイルスワクチン接種事業費 …… 2億1,804万円
 - ・乳幼児（0歳6か月～4歳）への1～3回目接種、小児（5歳～11歳）への3回目接種など
- 出産・子育て応援交付金事業費 …………… 1億5,600万円
 - ・伴走型相談支援
八戸市子育て世代包括支援センターによる妊娠期および出産後の面談などの実施
 - ・経済的支援
令和4年4月以降に出産された方を対象に「はちまむ応援金」（妊娠届出時5万円、出生届出後5万円、合計10万円）の支給
- 新大橋整備事業費 …………… 4億1,000万円

一般質問

SDGs^{*1}に関する当市の取り組みは



自由民主・市民クラブ
岡田 英

【問い】 当市におけるこれまでも今後の取り組みについて伺いたい。

【答え】 第7次八戸市総合計画において、SDGsをまちづくりの視点の一つに位置付け、SDGsをテーマとした市民大学講座の開催や広報紙での関連記事の連載、学校や職場での出前講座を実施し、広く市民に対する普及啓発に取り組みとともに、メディアを活用した情報発信などの取り組みを展開した。

今後は、市民向けセミナーの開催や、来年度から各課が作成するチラシなどにSDGsのゴールを掲載する取り組みを進めるなど、引き続き、SDGsの普及啓発に努め、持続可能なより良い地域社会の実現に取り組んでいく。

【その他の質問】

◆市発注の印刷物製造請負における過度な価格競争について など

インボイス^{*2}制度導入の凍結・中止を国へ求める考えは



日本共産党議員団
田端 文 明

【問い】 地域経済をさらに後退させるインボイス制度の凍結・中止を求めるべきと考えますが、市の考えを伺いたい。

【答え】 インボイス制度の導入により、正確な適用税率を確認することができる一方で、一部事業者にとって負担が増えることが懸念されている中、国では、小規模事業者に対する激変緩和措置や、少額の取引が多い中小事業者などに対する事務負担の軽減措置を検討している。

市としては、インボイス制度の趣旨や国のさまざまな負担軽減措置の検討を踏まえると、やむを得ないものと考えており、円滑な実施に向けて事業者などに理解されるよう、引き続き周知に努めていく。

【その他の質問】

◆福祉灯油の実施について



*1 SDGs…2015年9月国連で採択された持続可能な開発目標。誰一人取り残さないという理念のもと、世界の貧困をなくす、持続可能な世界を実現することを目指した2030年を達成期限とする17のゴール、169のターゲットおよびその進展を評価するための指針を持つ包括的な目標。

*2 インボイス制度…適格請求書等保存方式。令和元年10月1日から、消費税が標準税率10%と軽減税率8%の複税率になったことを契機として実施されることになった制度であり、適格請求書（インボイス）とは、事業者同士の取引における「売手」が「買手」に対して交付する、正確な適用税率や消費税額等を伝えるための請求書、納品書、領収書やレシートなどを指す。現行の請求書である区分記載請求書の記載項目に加え、インボイスでは「登録番号」、「適用税率」、「税率ごとに区分した消費税額等」の記載が必要となる。

障がい児通所施設の現状と課題は



きずなクラブ
吉田 洸 龍

【問い】 早期療育を行う同施設の現状と課題について所見を伺いたい。

【答え】 同施設のうち、早期療育を必要とする未就学児が通う児童発達支援事業所は、本年4月1日現在で市内に14カ所あるが、就学児が療育のために通う放課後等デイサービス事業所の数に比べて、必ずしも多い状況にはなく、一部の事業所では、既に定員に達してサービスを利用できないケースもあり、事業所数が少ないことが課題の一つである。

当市では、第6期八戸市障害福祉計画において、児童発達支援事業所の追加の検討を含む障がい児支援体制の整備を目指すこととしており、今後は、同施設と連携して既存サービスの拡充を図るとともに、新規事業者の参入促進を図っていく。

【その他の質問】
◆教育行政について

第85回全国都市問題会議の経済効果



きずなクラブ
高橋 貴 之

【問い】 同会議開催により見込ま

れる経済効果について伺いたい。

【答え】 同会議は、令和5年10月12日、13日の2日間にわたり、八戸市公会堂および公会堂文化ホールで開催され、県内外からの参加者を約1800人、うち宿泊者を約1400人と見込んでおり、中心市街地をはじめ市内各所での宿泊や飲食、交通、物販を通してさまざまな分野に経済効果が及ぶものと考えている。

これらの経済効果を試算したところ、当市での同会議開催による経済効果は約1億円と見込まれ、地元経済の活性化にも大いに寄与するものと考えている。

【その他の質問】
◆地域経済対策について
◆八戸市体育館の今後の取組について

出産・子育て応援交付金を活用した相談支援の考え方は



公明党
夏坂 修

【問い】 相談支援の現状と、交付金を活用した伴走型相談支援の取り組みについて考えを伺いたい。

【答え】 市では、妊娠前から子育て期にわたる切れ目のない支援体制を構築するため、平成30年に子育て

世代包括支援センターを設置し、妊産婦への相談支援や新生児世帯への全戸訪問などを実施している。

このような中、国は、妊娠期から出産・子育てまでのさまざまなニーズに即した支援につなぐ伴走型の相談支援を充実するとともに、経済的支援を一体として実施するため、出産・子育て応援交付金事業を創設しており、市では、この交付金事業を活用して、さらにきめ細やかな支援を行っていきたくと考えている。

【その他の質問】
◆教育行政について など



いわとくパルコ再開発への対応は



きずなクラブ
五戸 定 博

【問い】 同開発計画をどのように受け止めているか、また、今後、民間事業者による中心市街地再開発計画があった際はどのように対応していくのか、市長の所見を伺いたい。

【答え】 報道された地元建設事業者の「オール八戸で事業を進めたい」との言葉は、地元ニーズを踏まえた再開発を進めたいとの思いと受け止めており、深く共感する。まずは、事業者がどのような再開発を目指すのか、適切な時期に話を伺い、次期中心市街地活性化基本計画の方向性とも擦り合わせ、市としてできることを検討していきたいと考えている。

官民が連携してまちづくりに取り組むことが重要であるということの基本姿勢とし、今後、民間企業が再開発の事業化を考える際に参考となる一定の基準作りができるか他都市も参考にしながら検討していく。

公契約条例に賃金条項を設ける考えは



新緑・無所属の会
山名 文 世

【問い】 労働者の賃金や労働条件の向上のため、公契約条例に賃金規定を設け、地域経済の進展に寄与すべきと考えるが、所見を伺いたい。

【答え】 公契約条例施行以降、まずは事業者への制度に対する理解が不可欠と考え、制度の運用および効果に関する事業者説明会の開催などを通じて事業者および労働者への条

*3 早期療育…何らかの障がいを持った児童に対して必要とされる支援を早期から行うもの。

*4 全国都市問題会議…全国市長会、公益財団法人後藤・安田記念東京都市研究所、日本都市センター、開催市の4団体が主催し、全国の市長や特別区長、市議会議員および自治体関係者などが参集し、都市問題や地方自治などについて議論する会議。

例周知に努めており、当面は重点的に実施していきたいと考えている。賃金条項の設定については、制度の趣旨が十分に理解された後、第三者機関を設置し、有識者・労使関係団体の代表者などの効果や課題に関する意見交換を踏まえ検討していく。

【その他の質問】

◆公立小中学校給食費について

など

中学校へ産婦人科校医の配置を

新緑・無所属の会

吉田 淳一



【問い】 中学校に産婦人科校医を配置できないか伺いたい。

【答え】 当市では、いのちを育む教育アドバイザー事業において、性に関する諸問題を反映した内容を取り扱っているが、全国的には未成年者が性犯罪に巻き込まれる報道が後を絶たず、性感染症の増加など、性に関する問題が深刻化しているため、中学生に対する性に関する指導は、重要度を増していると考えられている。産婦人科医による専門的な性に関する指導は、生徒が性に関わる諸問題に対して適切に判断し、対処できる能力の育成に資するとともに、教

員の資質向上につながるものと考えていることから、産婦人科医を学校医として配置することについて、今後、研究していきたいと考えている。

【その他の質問】

◆気候変動対策について

新たに指定された避難所の対応は

自由民主・市民クラブ

盛 仁



【問い】 大津波警報発表時に初動で開設する指定避難所に新たに追加された施設の資材・備蓄品の設置と地区住民への周知の状況について、現状と今後の取り組みを伺いたい。



【答え】 備蓄品は、不足している避難所があったため、速やかに配備・備蓄していきたいと考えている。

地区住民への周知は、改定後の津波避難計画を市ホームページに掲載しているほか、今後、冊子版を自主

防災組織などに配布予定である。

また、改定後の地区別の津波避難計画図を、本年度中に浸水想定区域内の各世帯や事業所に配布するほか、来年度以降、津波避難誘導標識を新設するなど、周知に努めていく。

【その他の質問】

◆デジタル田園都市国家構想への対応とデジタル推進事業の取組について

など

第3子以降の学校給食費無償化を

きずなクラブ

田名部 裕美



【問い】 多子世帯への支援として第3子以降の学校給食費を無償化する考えはないか伺いたい。

【答え】 第3子以降の児童生徒を対象に給食費を無償化した場合の市の負担は、年間約8500万円と試算している。

当市における現行の無償化の取り組みは、学校教育法に基づき、経済的困窮世帯が対象の就学援助制度として行っており、令和3年度は、全児童生徒の約17%に当たる約3000人の給食費として、約1億4900万円を市で負担している。

第3子以降の無償化については、現行の就学援助制度による無償化を

行いつつ、他都市の事例を調査研究していく。

【その他の質問】

◆カスタマーハラスメント対策について

医療用ウィッグ・乳房補正具購入費助成の必要性は

公明党

中村 益 則



【問い】 治療による外見変化に悩むがん患者を支援するため、医療用ウィッグや乳房補正具購入費助成制度を導入すべきと考えるが、導入の必要性について認識を伺いたい。

【答え】 抗がん剤治療の副作用や手術による外見変化は、患者の精神的苦痛や社会参加の支障となっており、市が令和2年度に実施した「小児・AYA世代がん患者に関するアンケート」では、医療用ウィッグや見た目に関する費用の助成制度の整備を求める意見もあつたことから、がん治療を受けている方の負担軽減と就学・就労や社会参加の支援のためにも、医療用ウィッグや乳房補正具の購入費助成について、重要なものであると認識している。

【その他の質問】

◆市民連携について

*5 いのちを育む教育アドバイザー事業…八戸市医師会会長が推薦する産婦人科医と小児科医の10名を「いのちを育む教育アドバイザー」として委嘱し、中学校において性に関する諸問題についての専門的な指導を行う事業。

*6 AYA世代…Adolescent and Young Adult：思春期・若年成人世代のことで、おおむね15歳から39歳までを指す。

新井田地区への歴史伝承コーナーの設置を



無所属
上条 幸哉

【問い】 新井田地区の歴史を紹介する歴史伝承コーナーの設置について、所見を伺いたい。

【答え】 新井田地区では、地区住民が主体となって「新田城まつり」を開催し、歴史を活用した地域振興を図るなど、郷土への興味・関心が非常に高いと認識している。地元の要望を受け実施した新田城の発掘調査により、当時の様子の一部が解明され、地区の歴史を改めて見直す契機になったと考えている。

新井田地区への歴史伝承コーナーの設置は、地区住民の郷土愛の醸成にも非常に有効であることから、地区住民や来訪者が気軽に歴史を学習できるように、設置場所や展示内容などの在り方を研究していく。

【その他の質問】
◆ひきこもり対策について など

八戸市魚菜小売市場の観光促進を



日本共産党議員団
久保 しよう

【問い】 八戸市魚菜小売市場について、所管を現在の水産事務所から

観光課に移し、観光面を前面にした運営にする考えはないか伺いたい。

【答え】 八戸市魚菜小売市場は、「市民の台所」として親しまれてきており、近年は、テレビや雑誌などで取り上げられ、観光施設としての役割も高まっている。

管理運営については、令和4年12月のリニューアルオープンから間もないことから、当面、水産事務所を担当していきたいと考えている。

また、観光面については、今後も八戸市魚菜商業協同組合、みちのくみなど未来株式会社、VISITはちのへなどの関係団体と連携を密にしながら、さまざまな方法でPRしていきたいと考えている。

【その他の質問】
◆子育て支援について など



リニューアルオープンした魚菜小売市場

養殖事業の実施場所の展望は



自由民主・市民クラブ
高山 元延

【問い】 つくり育てる漁業の実施場所は、海上・陸上どちらにするのか、市長の展望を伺いたい。



【答え】 一般的に海面養殖では区画漁業権や波浪などの課題があり、陸上養殖では初期投資額や良質な水の確保などの課題が生じるため、これらの解決に向けた取り組みが必要であると理解している。

現在、水産アカデミーでは、つくり育てる漁業の専門部会設置に向けて取り組みを行っており、魚種や場所についての検討も行う予定としている。検討に当たっては、海上・陸上どちらかの養殖に限定することなく幅広く議論を行う予定であり、将来的には、養殖漁業が当市水産業の再興の足掛かりとなることを目標に、今後も調査・研究を続けていく。

【その他の質問】
◆八戸漁港の漁獲について

町内会活動のデジタル化の推進を



公明党
高橋 正人

【問い】 町内会活動のデジタル化により課題解決につながるものもあると考えるが、所見を伺いたい。

【答え】 町内会活動へのデジタル化の導入事例は、電子回覧板やオンライン会議、SNSの活用などがあり、事務的負担の軽減や若い世代の参加促進、迅速な情報伝達などの効果がある一方、インターネット環境の整備の必要性や導入・維持管理の費用負担などの課題も考えられる。

市としては、町内会に加入しやすい環境の整備が、加入率の低下や担い手不足などの課題解決につながる可能性があると考えているため、デジタル化は解決策の一つと捉え、町内会活動のデジタル化について調査研究していきたいと考えている。

【その他の質問】
◆高齢者のごみ出し支援について など



ケアラー支援条例の制定を



新緑・無所属の会
伊藤 圓子

【問い】 全てのケアラーを社会全体で支えるという理念を掲げ、支援の実効性をもたらすケアラー支援条例を制定する考えはないか伺いたい。

【答え】 市では、ヤングケアラーの支援については、学校や庁内関係部署などの関係機関と連携の下、早期に発見し、支援につなげることに重点を置いて取り組んでいる。

そうした中、ケアラー支援条例を制定することは、ケアラーの存在を社会に認識させ、市民全体、社会全体で支えていくという意識の醸成を図る上で大変有効であり、ヤングケアラーの早期発見、支援の強化につながることから、他都市の状況や国の県の動向を注視しながら検討していく。

◆市長との公民館サロンについて
など



農福連携の推進は



自由民主・市民クラブ
森 園 秀一

【問い】 農業振興策として農福連携の取り組みを推進する考えはないか伺いたい。



【答え】 農福連携は、障がい者などの就労や生きがいの場の提供とともに、農業分野にとっても、新たな働き手の確保に繋がる大変意義のある取り組みであると理解している。

市では、現在更新作業中の第12次八戸市農業計画において、農福連携に関する内容を新たに追加し、取り組みを加速させたいと考えており、今後、農業経営振興センターを農福連携の窓口として明確化し、その周知を図るとともに、PRイベントの実施など関係機関との連携を図りな

がら、実施可能なものから順次取り組んでいく。

【その他の質問】

◆中心市街地のまちづくりについて
など

産休・育休代替教員の先行配置を



日本共産党議員団
苦米地 あつ子

【問い】 産前休暇・育児休業に入る教員の代替教員の不足の現状と、代替教員を年度当初の4月から先行配置できるようにすると国の事務連絡に関する対応を伺いたい。

【答え】 本年度は、11校11名が産前休暇を取得し、うち6校6名の代替教員が未配置となっている。

国は、11月に、代替教員を年度当初に前倒しで配置する場合、少人数指導などの加配分を柔軟に活用できる措置を来年度から実施予定との事務連絡を都道府県・政令指定都市へ発出した。この措置について、学校の負担軽減につながるものと期待しており、今回の措置が実施された場合、小中学校教員の欠員解消に向けて積極的に活用を検討していく。

【その他の質問】

◆市営住宅の空室解消について
など

*7 ヤングケアラー…年齢や成長の度合いに見合わない重い責任や負担を負って、本来、大人が担うような家族の介護や世話をすることで、自らの育ちや教育に影響を及ぼしている18歳未満の子。

*8 農福連携…障がい者などが農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取り組み。



アプリのダウンロードはこちらからどうぞ



スマホ・タブレットで読める！「はちのへ市議会だより」

無料アプリ「マチイロ」を利用して、スマートフォンなどで「はちのへ市議会だより」を閲覧することができます。ぜひ、ご利用ください。

- アプリのダウンロードは無料ですが、通信費は利用者の負担となります。
- 最新号が発行されると、プッシュ通知によるお知らせが届きます。
- アプリからは、「広報はちのへ」も閲覧することができます。

※広告表示について：このアプリは株式会社ホープが作成・運営しています。閲覧中に表示される広告内容に、八戸市は一切責任を負いかねます。

「議会ふれあいミーティング」を開催しました!

八戸市議会では、従来の「議会報告会」のやり方を見直し、市内各地域へ議員が出向き、地域の皆さまと意見交換させていただく「議会ふれあいミーティング」を、令和3年度から開催しています。

本年度は、去る11月20日に豊崎地区と柏崎地区の2地区で開催し、議会の役割や日頃の活動をお知らせするとともに、それぞれの地域が抱える課題などについて、参加された皆さまと議員と一緒にグループワーク形式で意見交換を行いました。

豊崎地区（会場：瑞豊館 多目的ホール）

○参加者数

47人（町内会の関係者や中学生など）

○意見交換テーマ

「とよさきの未来と防災について」

○意見交換概要

意見交換では、地域の未来に関して、「調整区域の見直し」、「バスの運行本数増加、コミュニティバスの運行」、「空き家のリノベーション」などが必要との意見が出されました。また、地域の防災に関して、「まち全体の自主防災組織の結成」、「要援護者の避難計画策定」などが必要との意見が出されました。このほかにも、テーマに関するさまざまな意見が出され、参加者全員で共有しました。

参加議員	間 盛 仁	吉田 洸 龍	高橋 貴 之
	久 保 しょう	久 保 百 恵	岡 田 英
	高 山 元 延	田 端 文 明	夏 坂 修
	工 藤 悠 平	藤 川 優 里	寺 地 則 行
	伊 藤 圓 子	立 花 敬 之	五 戸 定 博
	吉 田 淳 一		(議席順・全16人)



柏崎地区（会場：青森県立八戸盲・聾学校 体育館）

参加議員	山之内 悠	高橋 正 人	中村 益 則
	田名部 裕 美	日 當 正 男	三 浦 博 司
	上 条 幸 哉	苔米地 あつ子	小 屋 敷 孝
	森 園 秀 一	壬 生 八 十 博	豊 田 美 好
	松 橋 知	冷 水 保	山 名 文 世
	坂 本 美 洋		(議席順・全16人)



○参加者数

52人（町内会・学校の関係者や中学生・高校生など）

○意見交換テーマ

「八戸盲学校・聾学校と地域の人々との心触れ合う持続可能な交流について考えよう」

○意見交換概要

柏崎地区は、会場である盲・聾学校の施設見学と概要説明を受けた上で意見交換を行いました。意見交換では、地域に所在する同学校と地域の人々が心触れ合う交流をしていくための方策について話し合いが行われ、「地域の行事に参加する」、「給食を一緒に食べる」、「手話・点字教室を開催する」など、さまざまなアイデアが出されました。